

私がワーク・ライフ・バランス支援の取組をお手伝いしたある会社では、出産を機に退職してしまう技術職の女性従業員のかたに、出産後復職してもらえるようにしたいと考えていました。その会社では育児休業制度や短時間勤務制度の利用を積極的に推奨していましたが、当事者はなかなかそれを利用しようとしなかったのです。なぜなら会社の経営層は制度を利用して出産後に復職してくれることを望んでいましたが、直属の上司や同僚といった一緒に働いている仲間たちの意識や価値観が経営層と合っておらず、口には出さないまでも子供の都合で遅刻したり欠勤したり、短時間しか働けない人がいるのはちょっと迷惑というような雰囲気醸成されていて、制度を利用しにくかったようなのです。

そこで、法定を上回る支援制度を導入するとともに、全社員に向けて研修を行いました。女性従業員の復職を支援することが会社にとっていかにメリットがあるか、今からワーク・ライフ・バランスを考えた働き方をすることが介護の問題に直面した時にどれだけ有効か、退職後の充実した生活にとってどれだけ重要か、といったことをお話し、会社全体としてお互いのワーク・ライフ・バランスを支援しようとする意識改革にまず取り組みました。その結果、女性従業員の退職率を下げることができました。

5 ワーク・ライフ・バランス推進に役立つ制度の紹介

費用がかからず、すぐにでも取り組める制度を2つだけご紹介いたします。まだ導入していないようでしたら、是非ご検討ください。

(1)フレックスタイム制度

清算期間(最大で1カ月以内の一定の期間で、労使協定で定められたもの)内での総労働時間を決めておいて、その清算期間内での各日の労働時間を労働者が決められる制度。この清算期間が4月から最大3か月に延長されますので、さらに柔軟な働き方ができるようになると思います。

(2)勤務間インターバル制度

時間外労働などを含む1日の最終的な勤務終了時から翌日の始業時まで、一定時間のインターバルを保障することにより従業員の休息時間を確保しようとする制度。睡眠不足は疾病のリスクを高めるという医学的知見があり、従業員の健康を守る上で休息時間を確保することは極めて重要です。不測の事態があり残業が深夜に及んだ場合でもこの制度を導入することでちゃんと休息がとれるようになるはずです。

目黒区でも、ワーク・ライフ・バランス推進企業等支援事業という制度を実施しており、ワーク・ライフ・バランスに取り組む300人以下の中小企業等を対象として、社会保険労務士を無料で派遣しています。「働き方改革関連法の施行で、年次有給休暇5日間の取得の義務化がされているけれど、とても余裕がない、具体的にどうしたらいいのかわからない」など、お悩みのことなどがありましたら、社会保険労務士がお手伝いできます。男女平等・共同参画センターに問い合わせてみてください。



【小林 富佐子(こばやし ふさこ)プロフィール】

・同志社大学法学部法律学科卒業後、協育歯車工業株式会社勤務。同社退職後結婚。その後専業主婦として4人の子育てをしながら行政書士と社会保険労務士の資格を取得。
・平成9年に勤務社会保険労務士として、株式会社宗華に勤務後「小林マネジメントサービス」を開業(特定社会保険労務士・行政書士事務所)。

現職: 小林マネジメントサービス代表、東京都社会保険労務士会山手統括支部副支部長、株式会社協育非常勤取締役。

目黒区男女平等・共同参画審議会委員、目黒区廃棄物減量等推進審議会委員、社会福祉法人目黒区社会福祉事業団評議員、東京商工会議所目黒支部卸情報分科会副分科会長などを務めている。

目黒区男女平等フォーラム2018

～男性学の視点から誰にとっても生きやすい社会を考える～



男女平等・共同参画センター運営委員会と目黒区の共催で「目黒区男女平等フォーラム2018」を開催しました。

今回は、大正大学心理社会学部准教授の田中俊之氏を講師にむかえ、男性は仕事中心、女性は社会に進出して家事や育児、介護、仕事など何役もこなしている現状がある中、「男も女も、仕事も家庭も」という社会を実現するにはどうすればいいのかについて、講演会とミニシンポジウムを行いました。

講演会では「男性学の視点から誰にとっても生きやすい社会を考える」をテーマとし、「会社は男の場所で地域は女性の場所」という無意識の偏見が社会全体にあり、育児休業の取得率等の数字だけを追うのではなく、当事者が幸せに思うかどうかという部分を考えていく土壌を醸成していく必要があると話されました。

また、女性は、「結婚、出産、介護など、女性という性別が生き方を制約していると意識せざるをえない場面があるが、男性も同じように、男性という性別が、考え方、行動、生き方に大きく影響を与えている。男女ともに性別によって制約されることがあるのだから、『私たちの問題』として認識することが大切である。」などの話をされました。

ミニシンポジウムでは、男性2名をゲストスピーカーに招いて、「リモートワークやフレッシュアップデー等の新たな働き方によって日中に家にいることで感じたこと」など、働き方を中心に、「誰にとっても生きやすい社会」に関して活発な意見交換や質疑応答が行われ、講師からは「小・中学校からジェンダーの違いや本日のような話をしてもいいと思う。」などの意見がありました。



復職や多様な働き方のヒントに!
15分でわかる 家計のみらい
WEB 無料

fiction! みらい家計シミュレーション

PC・スマホから無料で何度でも利用できるシミュレーションツールです。現在の収入や支出、家族の状況などを入力すると、将来必要になるお金をイメージすることができます。

シミュレーションのポイント

1. 具体的な金額がわからなくてもOK
2. 何年後にお金がどうなるかわかる
3. 条件を変えて何度も試算できる

★結果はLINEで家族や友人に共有も可能!

※年金・退職金を考慮しないため、結果は65歳までの表示となります。

詳しくは、「fiction! みらい家計シミュレーション」と検索!

みらい家計シミュレーション 検索

またはQRコードを読み取って頂くとアクセスできます→

※上記サービスは(株)リクルートの提供です。免責事項をお読みの上、ご利用ください。



男女平等・共同参画センター資料室

新着図書のご案内



井手久美子 著
(東京キララ社)



アナット・パニエル 著
瀬戸典子・伊藤夏子 訳
(太郎次郎社エディタス)